

ふりがな 氏名	たなか まなみ	都道府県	岡山県	
	田中 雅菜美			
所属/肩書	岡山市役所市民協働局市民協働部 ESD 推進課 / 主事			
関心・活動の SDGs				
私のESD活動	ESD 学生インターンシップ事業によるユースの育成			
<b>活動の概要</b>				
<p>ESD 学生インターンシップは、学生に公民館や NPO での取り組み(まちづくりや不登校児支援、被災者支援等)の体験を通して、ESD について深く考えてもらうことで、次世代の ESD を担う教育者及び、持続可能な地域づくりに参加する人材の育成を狙いとした事業です。このインターンシップの先駆的な取り組みは2点あります。1点目は、事前学習と事後の振り返りが充実している点です。事前学習で学生は、ESD とは何か、地域が抱える課題を解決するために、公民館や NPO はどのような活動をしているかをしっかり学習し、各自、インターンシップで達成したい目標や「地域課題の解決のために必要なものは何か」という仮説を設定した上で、実際に活動の体験に臨みます。また、事後の振り返りでは、自分が立てた目標は達成できたか、仮説は合っていたか等を中心に、体験をまとめる動画やポスターを制作し、受け入れ先や他の参加学生、一般市民の前でまとめの発表を行います。事前学習から事後の振り返りまでの流れが一貫していることで、学生の学びはより濃いものとなっています。2点目は、企業等が行う一般的なインターンシップでは体験が難しい、公民館や NPO の活動を肌で感じる点です。インターンシップ後に行っているアンケートでは、参加学生より、「インターンシップ後にも ESD や社会貢献に取り組む活動に参加している。」等の回答があり、ユースが ESD に取り組むきっかけのひとつになっています。</p>				
<p>・「おかやま ESD なび」 ESD 学生インターンシップ <a href="http://www.okayama-tbox.jp/esd/pages/6122">http://www.okayama-tbox.jp/esd/pages/6122</a></p>				
<b>私が考える教育の未来像</b>				
<p>私は今まで、「教育」=「学校教育」と考えていました。しかし、ESD を学び始めて、教育が学校現場だけでなく、地域活動の中にも教育の場があることに改めて気づきました。「人生 100 年時代」と言われる今、すべての人が生きがいを持って人生を送るために、これからの教育は、「生涯学習」を重視する必要があると思っています。生涯学習を充実させるためには、ESD の推進は必要不可欠です。今後の未来の教育が、学校教育だけで終わってしまわず、学校教育を通して得た好奇心を、社会教育のひとつである公民館での取り組みや地域活動を通して、子どもからお年寄りまでが生涯学習としていつでもどこでも学べる環境が当たり前になればいいと感じています。</p>				
<b>私の強み、活かせる経験やスキル</b>				
<p>私は行政職員として 3 年間、福祉業務に携わっていました。福祉業務では、高齢者の方や、子育て世帯の保護者の方の悩みや不安を伺い、市民の方々が日々安定した生活を送ることができるよう、利用できる制度やサービスの紹介を行いました。この経験より、私は以前の自分と比べ、他者と連携・協働する上で大切な、他人の話を丁寧に聴き、相手の気持ちに寄り添う力を身につけたと思います。また、「誰一人取り残さない」ことをテーマに掲げる SDGs の達成に向けて今後行政の立場で活動していく上で、社会的弱者の方と関わることの多い福祉の現場で働いた経験そのものは、とても貴重で役に立つ経験になっていると思います。</p>				